

メモリのない派生とフェイズ理論

刺田昌信

東京電機大学

Chomsky (2021, 2023)は、極小主義の帰結としてメモリを持たない統辞派生モデルを提案している。このモデルでは、現在の作業空間の状態に至るまでの派生プロセスの情報にはアクセスできない。それゆえ、複数の同一要素があるとき、それらがコピーなのか反復なのかを区別できないという問題がある。本発表では、このような統辞派生モデルを正しく機能させるために、フェイズ理論にいくつかの修正を加えることを提案したい。具体的には、フェイズに基づくコピー形成、PIC の再定式化、 v/v^* の選択、などに関していくらかの提案を行う。

References

Chomsky, Noam. 2021. Minimalism: Where are we now, and where can we hope to go.

Gengo Kenkyu 160. 1–41.

Chomsky, Noam. 2023. The miracle creed and SMT. Ms. The University of Arizona/MIT.